



認定特定非営利活動法人(認定NPO)

インド福祉村協会

会報

2008.4.1

Vol.14

India Welfare Village Society News

ホームページ <http://iwvs.web.infoseek.co.jp> (ボランティア 募集中)
特定寄付金に税制上の優遇措置が認可

公衆衛生教育と人材育成はじまる JICA計画：JPP特集



(婦人・妊婦 衛生教育)

JICA草の根技術協力(JPP)事業が2007年(平成18年)、9月より3年間の予定で開始されました。インド・UP州クシナガラ地域は貧農村民が多く、かつ保健衛生の整備も遅れております。栄養不良、貧血、感染症罹患、および妊産婦、乳幼児の死亡率も高い。この計画により、アーナンダ病院で基礎的な保健衛生教育を実施することで、衛生的で感染症の少ない生活向上に貢献することが期待されます。新教育ホールを建設して衛生知識向上と人材育成の教室として活用し、教育普及員の活動の場とします。



(落成式参加の人々)

SWEETY MEMORIAL EDUCATION HALL
AT
ANANDA HOSPITAL KUSHINAGAR
BUILT BY
FINANCIAL HELP OF JICA



INAUGURATED BY
DR. M.M. KHAN
C.M.O. KUSHINAGAR
ON 15th FEBRUARY 2008



(新教育ホール名「スイティ・ホール」)

インド福祉村病院(現地名 アーナンダ病院)
農村民への保健衛生教育
クシナガラ(北インド・UP州)

「JICA草の根技術協力」
開始にあたって
理事長 山本孝之

インドは、人口11億人のうち約30%が貧困家庭であり、世界の妊産婦死亡者の25%がインドであるといわれています。インドのシン首相は独立60周年記念式典の席上で「脱・貧困」宣言を発表しました。

この度私たちは、「保健衛生教育と人材育成」を行うJPP(JICA PARTNER PROGRAM)事業をJICAとの間で契約しました。

このJPP事業は重大な使命を持っており、インドの子供達と婦人達をみると、基礎的な衛生教育の必要性が大きく、今回、妊産婦の母子健康手帳の利用を計画し、妊産婦、乳幼児の死亡率改善を進めます。母子健康手帳の利用は、インド政府には立派な計画はあっても未だ普及していないといわれております。MCH(Maternal Child Health)ハンドブック(母子健康手帳)には検診とワクチン接種記録簿があります。この私たちのJPP事業は、婦人・妊産婦・子供達の幸せの回復につながる小さなプランでありながら大きな目的を持ち、人々の生活向上に貢献でき平和な生活発展に寄与出来ることを期待するものであります。



(新教育ホール)

新教育ホール完成

加藤伸也（プロジェクトマネージャー）

竣工式に列席して

柴田昌雄（福祉村協会 理事）

好天のもと2月15日にJICAの支援による教育ホールの竣工式が行われ、私も急遽日本より駆けつけ列席しました。来賓としてJICAデリー事務所の佐々木様、クシナガラ県衛生部長CHAND先生、マイトリの会角田様らが出席して下さいました。式典はまずグプタ院長の挨拶で始まり、各来賓の挨拶、山本理事長のメッセージの披露があり、最後に私がお礼の言葉を述べました。近隣の人びと約200人も参加してくれ、簡素であったが和やかなすばらしい式典でした。ホール壁には故飯島宗一先生と故Sweetly Elizabeth看護師の写真が掲げられました。このホールが今後、地域の衛生教育のセンターになるであろうことを確信した意義ある式典でした。

Sweety メモリアルホール 2008年2月15日

インド「よいとまけ」物語31

2月15日

いよいよ落成式を迎えました。



（JICA佐々木さん挨拶）



（IWVS柴田先生挨拶）



（Dr.Guptaの開会の挨拶）



（Sweety）



（飯島先生）



（村の人たち 約200人）



（Sweetyメモリアルホールのテークカット）



（山本理事長の挨拶/Dr.代読）



（新教育ホール建設中）

現地インドからのお礼 加藤伸也

IWVS会員の皆さん、理事長初め各理事、事務局の皆さん
そして、中部・現地JICAの皆さんへ

ありがとうございました。

2008年2月15日にSweety メモリアル ホールの
落成を迎えることが出来ました。

最後に、Dr. Guptaを初めとする、Staffの多大なる尽力に
感謝いたします。

拝

祝 新教育ホール

JICA中部市民参加協力調整員 脇田智恵

Sweetly Memorial Education Hallの建設おめでとうございます。

インドと日本の人々の長年の思いがこうして形になり、周辺地域のみなさんの保健衛生教育の拠点として活用される日が来ました。

このホールに母子が集うことで、女性同士の交流、情報交換の機会になり、地域の活性化につながることも期待されます。いつかまた訪れたい場所です。Sweetlyさんの明るい笑顔を思い出しながら。



落成式に出席して

JICAインドニューデリー事務所 佐々木結

アーナンダ病院のJICA新教育ホールの落成式にご招待され訪問しました。

アーナンダ病院とクシナガラ地区を見学させていただき、ありがとうございます。インドの中でも社会経済的發展から取り残された当地において、アーナンダ病院が地域医療に大きく貢献していることは、日々集まる患者さんの多さからも明らかです。今後、JICAの草の根事業でさらに活動の基盤が拡がっていくことを期待しています。

婦人・妊婦の生活指導検診

2007年12月14日 第2回説明会

30人参加。この日はクシナガラの人々です。新患らしき人から妊婦歴、住所、家族等handbookに記入しています。次回来た人から手渡すそうです。J・P・Pの文字が見えますか？



(母子健康手帳配布)

前回来た人のDataはすでにGyanがレポートを作成しており、このレポートと一緒に妊婦に渡すそうです。



(MCHハンドブック/母子健康手帳)



(staffの講義)



(婦人・妊婦 生活指導と検診)



(待合室のビデオ衛生教育)

JICA事業計画のあゆみ

1998年3月	熊野所長(JICA ND事務所)アーナンダ病院落成式出席
2004年	JICA NEW DELHI事務所毎年訪問
2005年2月	JICA草の根技術協力支援型事業申請
5・8月	JICA NEW DELHI事務所訪問
9月	篠原雅子さん(JICA研修生)アーナンダ病院訪問
12月	平本実氏、脇田智恵さん アーナンダ病院訪問
2006年4月	JICA草の根支援事業最終申請
10月	JICA草の根支援事業最終申請内定
11月	JICA草の根支援事業インド政府に申請
2007年3月	加藤伸也氏JICA研修参加 加藤伸也氏JICA国内国外研修参加(東京インド)
7月	JICA草の根支援事業インド政府認可 JICA中部ネットワーク連絡会参加
8月	JICA草の根技術協力支援型事業委託契約
9月	JPP事業開始 加藤伸也氏(プロジェクトマネージャー)現地病院派遣
11月	DR. P. N. Gupta, P. Nidhi 日本研修 加藤伸也氏ND,JICA研修会参加
12月	婦人、妊婦、保健衛生指導開始
2008年1月	子供、保健衛生指導開始 大竹結一氏現地派遣
2月	JPP事業、新教育ホール落成式 佐々木 結さん(JICA, ND)、柴田昌雄先生、加藤伸也氏列席 大竹結一氏JICA連絡会、PCM研修会参加 加藤伸也氏 JICA ND研修会参加

婦人・妊婦生活指導検診

2007年12月7日から毎週金曜日

妊婦生活衛生指導健康診断、血液検査実施

1回目(12/7)	50名参加(妊婦20名 検査妊婦7名)
2回目(12/14)	30名参加(妊婦25名 検査妊婦3名)
3回目(12/21)	26名参加(妊婦20名 検査妊婦1名)
4回目(12/28)	30名参加(妊婦25名 検査妊婦1名)
5回目(1/4)	22名参加(妊婦 3名 検査妊婦3名)
6回目(1/11)	26名参加(妊婦 7名 検査妊婦3名)
7回目(1/18)	20名参加(妊婦 4名 検査妊婦1名)
8回目(1/25)	26名参加(妊婦 6名 検査妊婦1名)
9回目(2/1)	(妊婦3名)
10回目(2/8)	(妊婦2名 検査妊婦1名)
11回目(2/15)	(妊婦4名 検査妊婦1名)
12回目(2/22)	11名参加(妊婦5名 検査妊婦2名)
13回目(2/29)	16名参加(妊婦1名 検査妊婦0名)
14回目(3/7)	25名参加(妊婦7名 検査妊婦1名)
15回目(3/14)	27名参加(妊婦8名 検査妊婦2名)
合計282名(妊婦120名 検査妊婦27名)	

参加者にPR拡大

妊婦と共に祖母、子供達多数参加



(子供たちへの衛生手洗い教育)

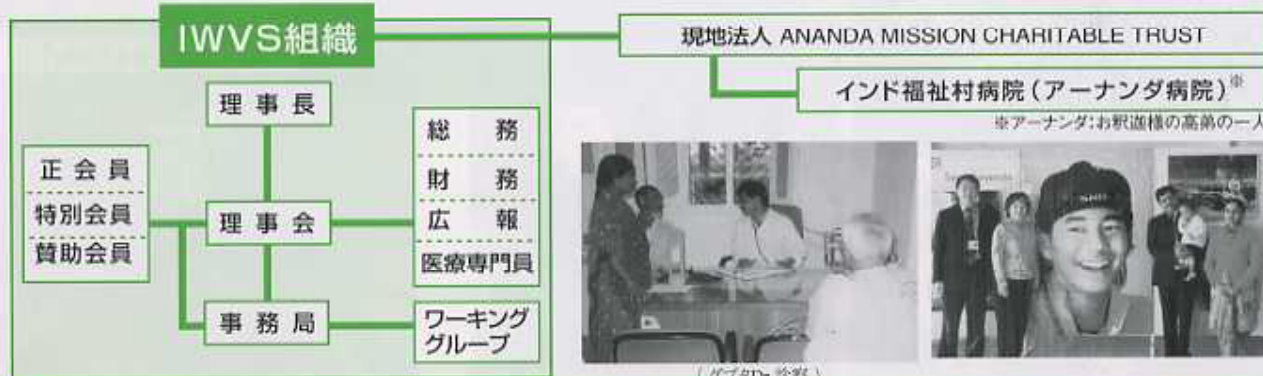


(子供たちへの衛生教育)

認定特定非営利活動法人
(認定NPO)

インド福祉村協会

(IWVS)



入会のお願い

正会員：年会費	5,000円	総会の議決権があります。協会の会報を毎回お届けします。プロジェクトの進み具合、現地の情報を逐次お知らせします。現地宿泊の便宜を図ります。
特別会員：	100,000円(〜以上)	代表一名を正会員として登録します。その他正会員と同様。
賛助会員：年会費	1,000円(〜以上)	総会の議決権はありません。協会の会報をお届けします。

【会費・寄附の支払い方法】

郵便振替 郵便振替用紙を利用し、最寄りの郵便局より手続きを行う。
 ご一報いただければ用紙をお送り致します。また、入金が確認されました領収書を送らせていただきます。寄附金は、税制上の優遇措置が受けられます。
 郵便振込(口座番号)00830-2-65008 (加入者名)インド福祉村協会

募金のお願い!

少しでもあなたの善意を
分けて下さい。

インド福祉村協会 (INDIA WELFARE VILLAGE SOCIETY)
 理事長/山本孝之(さわらび会理事長)
 常務理事/中村義博(株)トラベルサライ社長) 理事/柴田昌雄(愛知学院大前教授)
 理事/高木元晃(前慈恵寺住職) 事務局長/武田和敏 ほか
 ホームページ/http://iwvs.web.infoseek.co.jp E-mail/iwvs@post.sala.or.jp

■発行者 インド福祉村協会(IWVS)
 ■発行人 大竹結一 ■編集協力 文創社
 ■インド福祉村協会事務局(若葉荘内)
 〒441-8124 愛知県豊橋市野依町山中19-12
 TEL:0532-48-1138 FAX:0532-48-2365